

投資者の皆さまへ

2026年3月25日



商	号	SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者		関東財務局長(金商)第311号
加入協会		一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

### SBI オルタナティブ・ハイクラム・セレクト・ファンド(年4回決算型) 直近の米国クレジット市場動向について

平素より弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

SBIオルタナティブ・ハイクラム・セレクト・ファンド(年4回決算型)(以下「当ファンド」)は、バンクローン等、米国、欧州のパブリック・クレジット市場と、プライベート・クレジット市場に投資を行っております。

足下、米国クレジット市場におきまして、個人投資家向けの「ビジネス・デベロップメント・カンパニー(以下BDC)」という投資法人形態のファンドの解約制限に関する報道が相次いで出ております。

米アポロ・グローバル・マネージメント運営の「アポロ・デット・ソリューションズBDC」は23日、26年第1四半期の解約請求が純資産総額の11%相当に及び、解約請求に応じたのは上限の5%にとどめたとの発表に加え、米アレス・マネージメント運営の「アレス・ストラテジック・インカム・ファンド」も24日、同様の措置をとったと発表しております。

個人投資家向けのプライベート・クレジット・ファンドの一種であるBDCは、1兆8000億ドル規模の市場での融資額や、人工知能(AI)による混乱の影響を受けやすい企業へのエクスポージャーを巡る不安増大を背景に、解約請求の増加に直面しております。

こうしたファンドは通常、発行済み口数の5%を解約の制限条件にしておりますが、最近の個人投資家の間の不安は、運用会社の柔軟性とプロダクトの流動性を試す形となってきました。過去には、大手運用会社は、投資家のパニックを沈静化し、一層の資金流出を抑えるため、5%の上限を超えて解約に対応することもありましたが、今回は当初の制約通りの対応を行ったものです。解約制限の5%は、当初から設定されており、もともと流動性の低いプライベート資産を安定的に運用するためのものであり、解約制限により資金流出を防ぐということを前提にしているものではありません。今回の報道で取り上げられた解約請求の増加と、解約制限は、一部の限定的なクレジット懸念と考えられます。また、主要BDC同業ファンドの多くからは、解約制限に関する通達はなく、慎重な流動性管理が有効に機能していることが示されております。

当ファンドは、米国クレジット市場の状況に鑑み、早期にキャッシュ・ポジションを30%に高めておりましたが、本日、更に、35%と引き上げる対応を行いました。また、流動性の高い上場投資信託を主要な投資対象としており、前述のファンドとは異なり、設定・解約は日次で行うことができます。

#### <現在の運用状況に関しまして>

次頁以降の参考資料④は、当ファンドと大手投資運用会社の株価比較です(当ファンド設定日2025年9月9日を100として、投信価額、大手投資運用会社の株価を指数化)。米国クレジット市場の不安感を示すように、大手投資運用会社の株価は下落しておりますが、当ファンドの価格は安定しております。

参考資料③は、当ファンドの投資対象上場投資信託の基準価額推移です。KKC(KKR クレジット・インカム・ファンド)に関しましては、プライベート・クレジット市場への懸念から下落はしておりますが、他の銘柄は、安定しております。KKCにつきましては、参考資料②の資産状況表に記載しています通り、投資割合を、引下げております。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

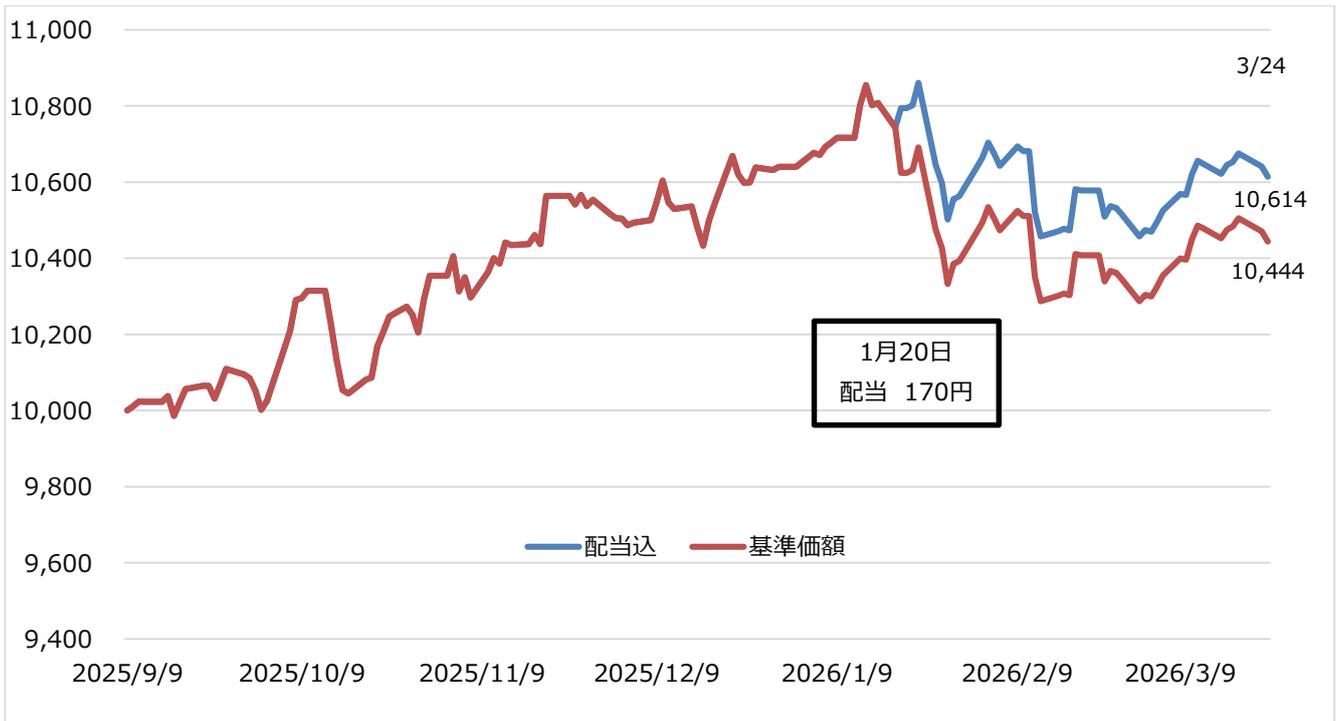
中東情勢も収束に向かう見通しも難しい状況です。

各投資信託の資産の状況については、引き続き、注視し、適時、臨時レポート等で皆さまに市場状況をお知らせしてまいります。

以上

参考資料

① SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)設定来基準価額推移

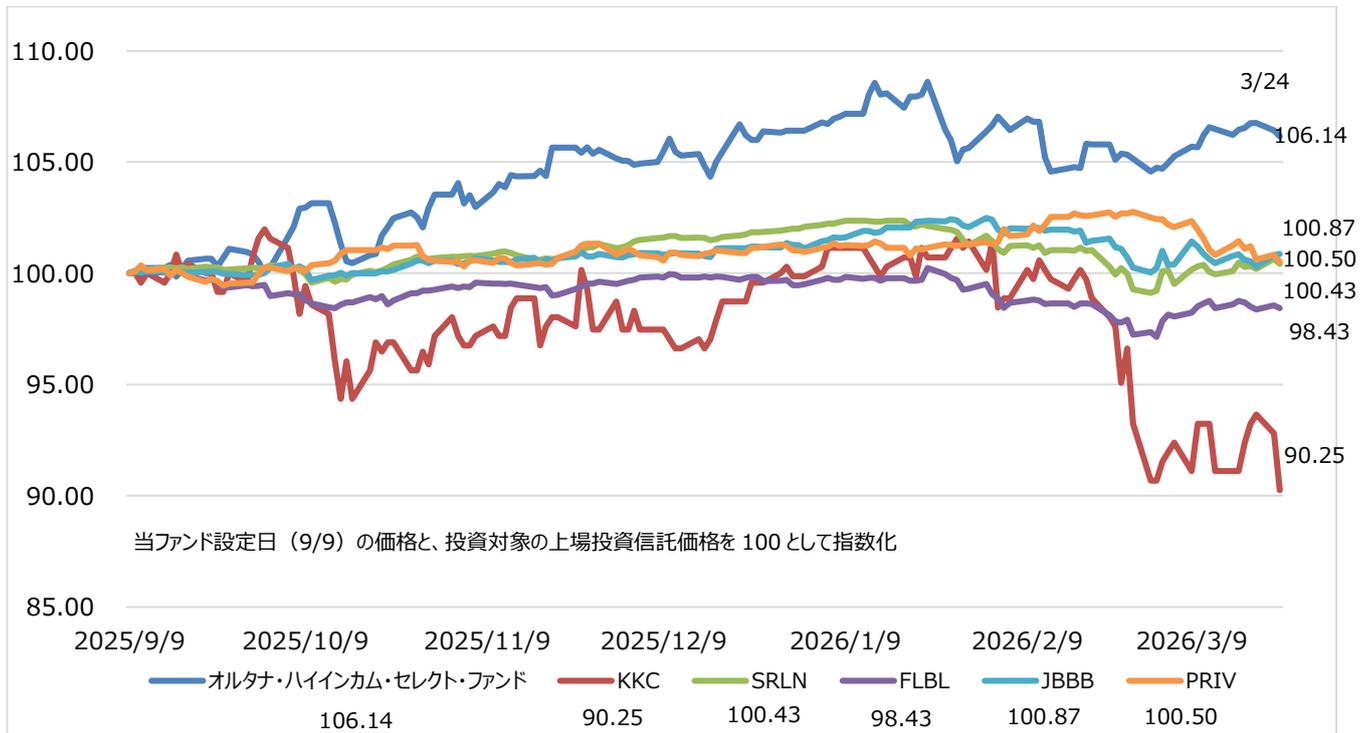


② SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)資産状況

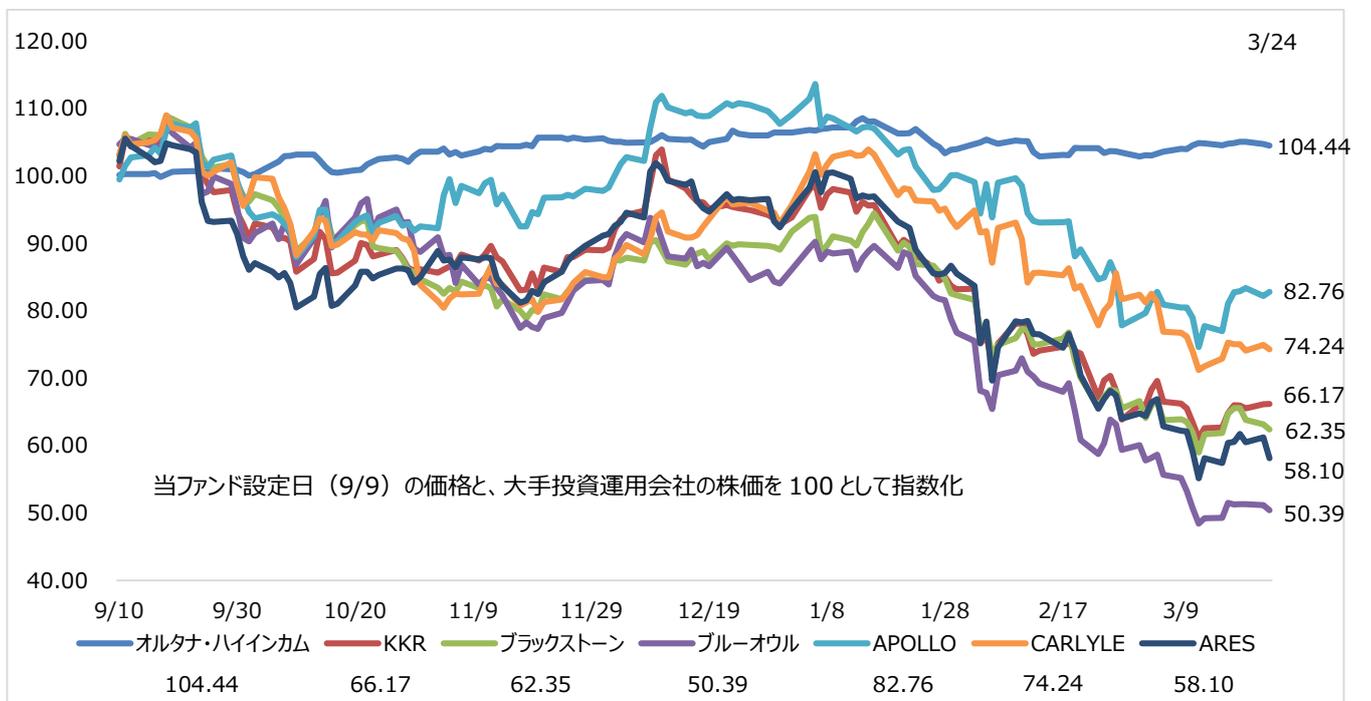
	通貨	3月25日
KKR クレジット・インカム・ファンド (KKC)	オーストラリアドル	3.00%
State Street® ブラックストーン・シニアローン ETF (SRLN)	米ドル	20.00%
フランクリン・シニアローン ETF (FLBL)	米ドル	20.00%
ジャナス・ヘンダーソン・B-BBB CLO ETF (JBBB)	米ドル	19.00%
State Street® IG パブリック & プライベートクレジットETF (PRIV)	米ドル	3.00%
cash		35.00%
合計		100.00%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

③ SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)投資対象上場投資信託基準価額推移



④ SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型) 大手投資運用会社株価比較(配当抜)



作成: SBIアセットマネジメント株式会社

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額 の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因や留意点としては以下のものがありますが、以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

### 主な変動要因

- バンクローンに関するリスク
- CLO(ローン担保証券)に関するリスク
- ダイレクトレンディング(ローン)に関するリスク
- ハイイールド社債に関するリスク
- ハイブリッド債に関するリスク
- レバレッジに関するリスク
- 金利変動に関するリスク
- 流動性リスク
- 為替変動リスク
- 信用リスク
- カントリーリスク

### その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 有価証券の貸付取引を行う場合は、取引先リスク(取引の相手方(レンディング・エージェントを含みます。))の倒産等により契約が不履行になることが生じる可能性があります。
- ・ 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れETF(上場投資信託証券)に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

### (お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料: 購入価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。  
※詳細は販売会社にお問い合わせください。

### (途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額: ありません

### (保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2026年2月20日現在): 年1.5204%程度\* (年1.2904%~年1.9404%程度)  
※有価証券届出書提出時点で想定する投資配分を基に試算したもの  
※本ファンドにおいて成功報酬制はありません。

### ● その他の費用

ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、保管費用等本ファンドの投資に関する費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用(法律顧問・税務顧問等への報酬を含む)、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。

\*これらの費用は監査費用を除き運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。